

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月18日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL <http://www.adjuvant.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 中川 秀男

TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 平成25年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年3月21日～平成24年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 3,594 | — | 975 | — | 927 | — | 535 | — |
| 24年3月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 535百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 100百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第3四半期 | 184.18 | 176.53 |
| 24年3月期第3四半期 | — | — |

(注)1. 当社は、平成24年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年3月期第3四半期の記載及び平成25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

2. 当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 5,746 | 3,803 | 3,803 | 2,429 | 66.2 |
| 24年3月期 | 4,412 | 2,429 | 2,429 | — | 55.1 |

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,803百万円 24年3月期 2,429百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | — | — | 30.00 | 30.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 40.00 | 40.00 |

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成24年3月期の1株当たり配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。平成25年3月期(予想)配当40円00銭の内訳につきましては、普通配当35円00銭、記念配当5円00銭となっております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年3月21日～平成25年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,366 | 5.3 | 927 | △1.2 | 870 | △8.0 | 480 | 74.0 | 155.74 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期3Q | 3,634,200 株 | 24年3月期 | 2,884,200 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期3Q | — 株 | 24年3月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期3Q | 2,908,745 株 | 24年3月期3Q | 2,678,700 株 |

(注) 当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。しかしながら、依然として欧州の債務問題や長期化する円高等を背景とした景気の下振れリスクに加え、増税や景気の減速による消費者心理の冷え込みといった懸念材料もあり、国内景気や企業の経済活動にとって厳しい状況が続いております。

美容業界におきましても、依然として新規顧客数の減少、客単価の低下、来店頻度の鈍化等、サロン(注)経営にとって厳しい環境が続いております。今後も少子高齢化、人口減少が進み、サロン1店舗当たりの売上高が低迷すると予想されます。

このような状況のもと、当社グループは当連結会計年度の営業テーマを「選択と集中」、そして営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画(キャンペーン)の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートに取組みました。

売上高につきましては、基礎愛用者の獲得に向け拡販に努めましたが、スキンケア商品が伸び悩みました。しかしながら、平成24年6月に、基礎シリーズであるAEシリーズ5品が2012年度モンドセレクション金賞を受賞いたしました。これを好機に、商品認知度を高め、今後も更なる顧客の獲得に向けて注力してまいります。

また、平成24年5月にリニューアルしたヘアケア商品のリ:シリーズは、前年実績を上回り好調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,594百万円となりました。利益面では、営業利益975百万円、経常利益927百万円、四半期純利益535百万円となりました。

(注) サロン・・・美容室、理容室、エステティックサロンをいいます。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

| 区分 | 当第3四半期連結累計期間 | |
|-------|--------------|--------|
| | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| スキンケア | 1,684 | 46.9 |
| ヘアケア | 2,081 | 57.9 |
| その他 | 114 | 3.2 |
| 売上割戻金 | △286 | △8.0 |
| 合計 | 3,594 | 100.0 |

(注) 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦できないため合計額で表示しております。

当社グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別の売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

平成24年11月に新発売した男性用スキンケア商品であるQ&Nシリーズは、順調に推移しております。しかしながら、昨年リニューアルを行ったAEシリーズ、及びAEミスティⅡの積極的な推進を行ってまいりましたが、AEシリーズの新規顧客の開拓までには至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,684百万円となりました。

(ヘアケア)

平成24年5月にリ:シリーズ4種をリニューアルしたことにより、販売が好調に推移しております。

また、当社グループの営業方針のひとつとして掲げる「知識・技術習得の強化」の活動の一環として、一昨年度から一般美容市場からの差別化を図るための取組みを行い、サロンに対してホームケアとは異なるプロユースのトリートメントメニューとして、①リ:プロサイバーシステム(専門の美容機器を使ったトリートメントメニュー)、②リ:プロプラチナムメニュー(毛髪トリートメントメニュー)の提案、そして徹底した教育を行ってまいりました。

さらに、「技術連動型店販」(カラー、パーマ等の技術と店販を連動させたメニュー提案)を推進し、サロンスタッフ一人当たりの生産性の向上に向けて教育を行ってまいりました。サロン内においてこれらの教育を行った結果、

サロンの顧客にホームケアの重要性が伝わり、ヘアケアの安定した伸長につながりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,081百万円となりました。

(その他)

その他に含まれる、「MAPシステム」は、専任者が全国を巡回し、導入しているサロンへのフォロー、見込店への勉強会を行うことにより、充実した機能をもつ同システムの活用促進を継続しております。サポート体制もより充実させ、サロンとのより強い関係づくりに努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は114百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,333百万円増加し、5,746百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,346百万円増加の3,910百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加835百万円、売掛金の増加297百万円、商品及び製品の増加128百万円、前払費用の増加87百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して12百万円減少の1,835百万円となりました。主な変動要因は、工具、器具及び備品の増加4百万円、リース資産の増加6百万円、有形固定資産の減価償却による減少38百万円、保険積立金の増加10百万円、繰延税金資産の増加5百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して155百万円増加の1,039百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の減少26百万円、未払金の増加89百万円及び未払法人税等の増加99百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して195百万円減少の903百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少204百万円、役員退職慰労引当金の増加12百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,373百万円増加の3,803百万円となりました。主な変動要因は、資本金の増加433百万円、資本剰余金の増加433百万円、利益剰余金の増加506百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益、当期純利益を概ね達成しておりますが、経営環境が不透明であること等を踏まえ、現在のところ、前回発表（平成24年12月13日）の連結業績予想を変更しておりません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月20日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,657,208 | 2,492,434 |
| 売掛金 | 365,226 | 662,858 |
| 商品及び製品 | 365,323 | 494,217 |
| 原材料及び貯蔵品 | 45,966 | 42,708 |
| その他 | 136,753 | 226,359 |
| 貸倒引当金 | △6,649 | △8,378 |
| 流動資産合計 | 2,563,828 | 3,910,199 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 723,110 | 722,348 |
| その他 | 542,405 | 550,843 |
| 減価償却累計額 | △204,645 | △243,137 |
| 有形固定資産合計 | 1,060,870 | 1,030,054 |
| 無形固定資産 | 78,640 | 80,280 |
| 投資その他の資産 | 709,318 | 725,654 |
| 固定資産合計 | 1,848,829 | 1,835,989 |
| 資産合計 | 4,412,658 | 5,746,188 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 205,598 | 178,878 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 266,652 | 266,652 |
| 未払法人税等 | 122,933 | 222,328 |
| 賞与引当金 | 72,270 | 41,261 |
| その他 | 216,783 | 330,538 |
| 流動負債合計 | 884,237 | 1,039,659 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 753,298 | 548,309 |
| 退職給付引当金 | 27,370 | 29,287 |
| 役員退職慰労引当金 | 274,000 | 286,749 |
| 資産除去債務 | 23,349 | 23,567 |
| その他 | 20,953 | 15,268 |
| 固定負債合計 | 1,098,971 | 903,182 |
| 負債合計 | 1,983,209 | 1,942,841 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月20日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 189,793 | 623,293 |
| 資本剰余金 | 149,725 | 583,225 |
| 利益剰余金 | 2,089,881 | 2,596,766 |
| 株主資本合計 | 2,429,400 | 3,803,285 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 48 | 61 |
| その他の包括利益累計額合計 | 48 | 61 |
| 純資産合計 | 2,429,449 | 3,803,346 |
| 負債純資産合計 | 4,412,658 | 5,746,188 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日) |
|-----------------|---|
| 売上高 | 3,594,557 |
| 売上原価 | 1,284,401 |
| 売上総利益 | 2,310,156 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,334,337 |
| 営業利益 | 975,819 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 142 |
| 受取配当金 | 54 |
| 為替差益 | 1,814 |
| 保険解約返戻金 | 929 |
| 雑収入 | 1,536 |
| 営業外収益合計 | 4,476 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 8,626 |
| 株式公開費用 | 44,496 |
| 雑損失 | 81 |
| 営業外費用合計 | 53,205 |
| 経常利益 | 927,090 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 1 |
| 固定資産除却損 | 156 |
| 特別損失合計 | 158 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 926,932 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 418,070 |
| 法人税等調整額 | △26,865 |
| 法人税等合計 | 391,204 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 535,727 |
| 四半期純利益 | 535,727 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日) |
|-----------------|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 535,727 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 12 |
| その他の包括利益合計 | 12 |
| 四半期包括利益 | 535,739 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 535,739 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループはアジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月12日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ433,500千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が623,293千円、資本準備金が583,225千円となっております。